



CHAPTER 7

ターミナルの設定

この章では、ターミナルの設定について説明します。内容は次のとおりです。

- 「ターミナルの概要」 (P.7-1)
- 「コンソール ターミナルの画面長の設定」 (P.7-2)
- 「コンソール ターミナルの画面幅の設定」 (P.7-2)
- 「ターミナル設定の表示」 (P.7-3)
- 「コンソール接続のタイムアウトの設定」 (P.7-3)
- 「SSH および Telnet 接続のタイムアウトの設定」 (P.7-4)
- 「スイッチへの回線接続のクリア」 (P.7-5)
- 「現在のセッションのタイムアウトの設定」 (P.7-5)

ターミナルの概要

ターミナル タイプ、ディスプレイ、タイムアウト、およびその他の設定をコンソール ターミナルに設定できます。

ターミナル タイプの定義

ここで説明する手順に従って、スイッチで使用するターミナルのタイプを定義します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナル セッションにログインしている必要があります。

手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 <code>terminal terminal-type type</code> 例: <pre>n1000v# terminal terminal-type vt100 n1000v#</pre>	スイッチのターミナルタイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効なタイプ = vt100、xterm など デフォルト = vt100 最大文字数 = 80 文字 Telnet または SSH セッションに不明なターミナルタイプが使用されている場合、スイッチはデフォルトの vt100 を使用します。

コンソール ターミナルの画面長の設定

次の手順に従って、現在のコンソールセッション中に画面に表示する行数を設定します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- この手順が適用されるのはコンソールポートだけです。Telnet および SSH セッションでは、ターミナル長は自動的に設定されます。
- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 <code>terminal length number of lines</code> 例: <pre>n1000v# terminal length 20 n1000v#</pre>	現在のコンソールセッションで画面に表示する行数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 範囲 = 0 ~ 511 行 デフォルト = 24 行 無効 = 0 (続けてスクロール)

コンソール ターミナルの画面幅の設定

次の手順に従って、現在のコンソールセッション中に画面の1行に表示する文字数を設定します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- この手順が適用されるのはコンソールポートだけです。Telnet および SSH セッションでは、ターミナル幅は自動的に設定されます。
- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 <code>terminal width number of characters</code> 例: <pre>n1000v# terminal width 86 n1000v#</pre>	現在のコンソールセッションで各行に表示する文字数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 範囲 = 24 ~ 511 文字 • デフォルト = 88 文字

ターミナル設定の表示

次の手順に従って、現在のセッションのターミナル設定を表示します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- 任意のコマンドモードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインする必要があります。

手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 <code>show terminal</code> 例: <pre>n1000v# show terminal TTY: /dev/pts/8 type: "vt100" Length: 24 lines, Width: 88 columns Session Timeout: None n1000v#</pre>	現在のセッションのターミナル設定を表示します。

コンソール接続のタイムアウトの設定

次の手順に従って、非アクティブなコンソールセッションを開いたままにしておく時間を分単位で指定します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインする必要があります。

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	config t 例: n1000v # config t n1000v(config)#	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	line console 例: n1000v(config)# line console n1000v(config-console)#	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	exec-timeout minutes 例: n1000v(config-console)# exec-timeout 60 n1000v(config-console)#	非アクティブなコンソールセッションを開いたままにしておく時間を分単位で設定します。セッションの非アクティブな状態が、ここに指定した時間を超えた場合、セッションは自動的に終了されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 範囲 = 0 ~ 525、600 分 • デフォルト = 30 分 • 無効 (タイムアウトなし) = 0 分 タイムアウトをゼロに設定した場合、コンソール接続はユーザが閉じるまで切断されません。

SSH および Telnet 接続のタイムアウトの設定

次の手順に従って、非アクティブな SSH または Telnet セッションを開いたままにしておく時間を分単位で指定します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	config t 例: n1000v # config t n1000v(config)#	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

コマンド	目的
ステップ2 line vty 例: <pre>n1000v(config)# line vty n1000v(config-line)#</pre>	仮想端末回線コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3 exec-timeout minutes 例: <pre>n1000v(config-line)# exec-timeout 60 n1000v(config-line)#</pre>	非アクティブな Telnet または SSH セッションを開いたままにしておく時間を分単位で設定します。セッションの非アクティブな状態が、ここに指定した時間を超えた場合、セッションは自動的に終了されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 範囲 = 0 ~ 525、600 分 • デフォルト = 30 分 • 無効 (タイムアウトなし) = 0 分 タイムアウトをゼロに設定した場合、回線接続はユーザが閉じるまで切断されません。

スイッチへの回線接続のクリア

次の手順に従って、スイッチへの特定の回線接続を終了します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 clear line aux 例: <pre>n1000v# clear line aux n1000v #</pre>	回線接続を終了します。

現在のセッションのタイムアウトの設定

次の手順に従って、スイッチが現在のターミナルセッションをシャットダウンするまでに、セッションを開いておく最長時間を分単位で設定します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

手順の詳細

コマンド	目的
<p>ステップ1 terminal session <i>minutes</i></p> <p>例:</p> <pre>n1000v# terminal session 600 n1000v#</pre>	<p>スイッチが現在のターミナルセッションをシャットダウンするまでに、セッションを開いたままにしておく時間を分単位で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 範囲 = 0 ~ 525、600 分• 無効 (タイムアウトなし) = 0 分 <p>この変更の適用対象は現在のセッションに限られるため、変更はコンフィギュレーションファイルに保存されません。</p>